

第 1 3 4 回 (令和5年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 4 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

会社名	商品名	定価	販売数
宝水産	C	1,640	320
丸中食品	B	2,170	210
山田屋	D	1,930	170
川上商店	A	1,280	430
キムラ	B	2,170	240
大木商会	A	1,280	280
中村堂	D	1,930	190
北陸総業	C	1,640	240

<処理条件>

- <出力形式>のような販売一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 金額=定価×販売数
値引額=金額×8%
販売額=金額-値引額
- 合計・平均(整数未満四捨五入の表示)を求めなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式>

販 売 一 覧 表

会社名	商品名	定価	販売数	金額	値引額	販売額
合 計	——	——				
平 均	——	——				

第 1 3 4 回 (令和5年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 3 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

番号	会社名	単価	日数
11	中村建設	18,590	11
12	明光住宅	15,260	10
13	緑ハウス	24,320	7
14	健康住建	16,580	9
15	新町土木	23,370	8
16	みわ木材	17,410	12
17	青木造園	20,050	7
18	白川開発	16,230	13
19	神田工業	22,840	8

<割引率表>

日数	割引率
10 以上	3.6%
それ以外	3.2%

<処理条件>

- <出力形式>のような請求額一覧表を作成しなさい。（—— の部分は空白とする）
- 基本料金＝単価×7
追加料金＝単価×0.62×(日数－7)（整数未満切り上げ）
- 割引率は<割引率表>を参照し、求めなさい。（%の小数第1位までの表示とする）
割引額＝(基本料金＋追加料金)×割引率（整数未満切り捨て）
請求額＝基本料金＋追加料金－割引額
- 合計・平均（整数未満四捨五入の表示）・最大を求めなさい。
- 請求額の降順に並べ替えなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）

<出力形式>

請 求 額 一 覧 表

番号	会社名	単価	日数	基本料金	追加料金	割引率	割引額	請求額

(途 中 省 略)

——	合 計	——				——		
——	平 均	——				——		
——	最 大	——				——		

	委託数	販売数	手数料
平 均			
最 大			
最 小			

第134回 (令和5年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 2級問題

＜問題＞

1. 下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
3. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

上期			
CO	販売先名	販売数	販売額
101	中川商事	843	790,400
102	山田ストア	716	587,300
103	たかはし	839	789,500
104	久保田商店	987	846,900
105	川本総業	805	620,800
106	ヤマセ商会	703	663,100
107	JAK食品	850	789,200

下期			
CO	販売先名	販売数	販売額
101	中川商事	856	752, 600
102	山田ストア	731	638, 500
103	たかはし	827	760, 200
104	久保田商店	985	881, 700
105	川本総業	851	789, 400
106	ヤマセ商会	698	573, 100
107	J A K 食品	820	802, 400

<値引率表>

販売数	販売額	値引率
850 以上 または	79 万以上	8.6%
それ以外		7.3%

<判定表>

判定の条件	判定
上期と下期の両方とも 720,000 以上の場合	***
上期と下期のいずれかが 720,000 以上の場合	**
それ以外	*

<处理条件>

1. <出力形式1>のような請求額一覧表（上期）と（下期）の2つの表を作成しなさい。
（——の部分空白とする）
2. 値引率は<値引率表>を参照し、求めなさい。（%の小数第1位までの表示とする）
値引額＝販売額×値引率（整数未満切り捨て）
請求額＝販売額－値引額
3. 合計を求めなさい。
4. <出力形式2>のような年間請求額一覧表を作成しなさい。（——の部分空白とする）
5. 上期・下期は、それぞれの表の請求額を表検索しなさい。
6. 年間＝上期＋下期
ポイント＝年間×2.7%（整数未満切り上げ）
7. 合計を求めなさい。
8. 構成比率＝年間÷年間の合計（%の小数第1位未満四捨五入の表示）
9. 判定は<判定表>を参照し、求めなさい。
10. 下期の昇順に並べ替えなさい。
11. 罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
12. 年間請求額一覧表の上期と判定のセル証明をしなさい。
13. 年間請求額一覧表の上期と下期の値を販売先名別の縦棒グラフにしなさい。
タイトルは“販売先別の比較”とし、凡例は“上期”、“下期”とする。

<出力形式1>

請求額一覽表 ()						
CO	販売先名	販売数	販売額	値引率	値引額	請求額
(途 中 省 略)						
—	合 計			—		

<出力形式 2>

CO	販売先名	上期	下期	年間	ポイント	構成比率	判定
			(途 中 省 略)				
—	合 計					—	—

第134回 (令和5年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準1級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

得CO	得意先名	商CO	売上数
101	あさひ商事	13	402
102	MKストア	11	321
103	マルカ総業	14	350
104	小野田商店	12	312
105	西青山物産	11	283
106	南部百貨店	14	364
107	二階堂食品	12	265
108	大八木青果	13	387

<商品テーブル>

商CO	商品名	原価
11	商品J	1,600
12	商品K	1,800
13	商品L	1,400
14	商品M	1,500

<売価の計算式>

定価	売価
1,900以上	定価×0.89
それ以外	定価×0.94

※売価は整数未満切り捨て。

<割引率表>

売上額	割引率
65万以上	6.7%
60万以上 65万未満	5.8%
1以上 60万未満	4.9%

<処理条件>

- <出力形式1>のような売上額計算表を作成しなさい。(——の部分は空白とする)
- 商品名は<商品テーブル>を表検索しなさい。
- 定価=原価×1.3 ※原価は<商品テーブル>を参照する。
- 売価は<売価の計算式>を参照し、求めなさい。
売上額=売価×売上数
- 合計を求めなさい。
- <出力形式2>のような請求額一覧表を作成しなさい。(——の部分は空白とする)
- 得意先名・売上数・売上額は売上額計算表を表検索しなさい。
- 割引率は<割引率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
割引額=売上額×割引率(10位未満四捨五入)
請求額=売上額－割引額
増量数=売上数×4.8%(整数未満切り上げ)
- 合計を求めなさい。
- 増量数の昇順に並べ替えなさい。
- 請求額一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- <出力形式2>の請求額を得意先名別の円グラフにしなさい。
タイトルは“請求額の構成比”、凡例は得意先名とし、％の小数第1位までの表示とする。

<出力形式1>

売上額計算表

得CO	得意先名	商CO	商品名	売上数	定価	売価	売上額
(途中省略)							
——	合 計	——	——		——	——	

<出力形式2>

請求額一覧表

得CO	得意先名	売上数	売上額	割引率	割引額	請求額	増量数
(途中省略)							
——	合 計			——			

<出力形式3>

割引額が3万円以上の売上額の平均	
売上数が350未満の請求額の合計	

第134回 (令和5年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 1級問題

＜問題＞

1. 下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
3. データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
4. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

得C O	商C O	売上数
101A	11	498
101A	12	794
101A	13	650
101A	14	500
102B	11	673
102B	12	471
102B	13	576
102B	14	700
103A	11	507
103A	12	452
103A	13	599
103A	14	641
104B	11	628
104B	12	763
104B	13	492
104B	14	511

＜得意先テーブル＞

得点	得意先名
101A	KEストア
102B	小石川商店
103A	新鮮マート
104B	三葉百貨店

＜商品テーブル＞

商C O	商品名	原価
11	W商品	1,327
12	X商品	841
13	Y商品	1,273
14	Z商品	756

＜値引率テーブル＞

区分	値引率
A	8.0%
B	7.3%

※区分は得C Oの右から
1文字目とする。

＜増量数の計算式＞

売上額	増量数
80 万以上	売上数×5.1%
それ以外	売上数×4.3%

※増量数は整数未満切り捨て。

<处理条件>

1. <出力形式1>のような得意先別売上一覧表を作成しなさい。（——の部分空白とする）
2. 得意先名、商品名はそれぞれ<得意先テーブル>、<商品テーブル>を表検索しなさい。
3. 定価＝原価×1.27（10位未満切り上げ） ※原価は<商品テーブル>を参照する。
金額＝定価×売上数
4. 値引率は、売上数が500以下の場合6.1%とし、それ以外は<値引率テーブル>を参照し、求めなさい。（%の小数第1位までの表示とする）
値引額＝金額×値引率（10位未満四捨五入）
売上額＝金額－値引額
5. 増量数は<増量数の計算式>を参照し、求めなさい。
6. 売上数が700以上または値引額が50,000以下に“*”の評価をしなさい。
7. 合計を求めなさい。
8. <出力形式1>と同じ形式で、売上数が650未満で売上額が70万以上を抽出しなさい。
表題は“得意先別売上一覧表（売上数650未満・売上額70万円以上）”とし、値引額の降順に並べ替えなさい。
9. 得意先別売上一覧表を基に<出力形式2>のような処理をしなさい。
10. 得意先別売上一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。（平均は整数未満四捨五入の表示とする）
11. 罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
12. <出力形式2>の売上額を商品名別の横棒グラフにしなさい。
タイトルは“商品別の売上額”とし、凡例は“売上額”とする。

<出力形式1>

得意先別売上一覧表

得CO	得意先名	商CO	商品名	定価	売上数	金額	値引率	値引額	売上額	増量数	評価
(途 中 省 略)											
—	合 計	—	—	—			—				—

<出力形式2>

商品別集計表

商品名	売上数	売上額	増量数
W商品			
X商品			
Y商品			
Z商品			

<出力形式 3>

W商品以外の値引額の合計	
売上数が 600 以上で値引額が 60,000 円以下の件数	
増量数が 20 より多く 30 より少ない売上数の平均	

第134回（令和5年10月）
情報処理技能検定試験（表計算）
初段 問題

試験時間	30分
------	-----

1. <入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成しなさい。
2. 表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
3. <出力形式>に「合計」「平均」などがある場合は、関数により処理を行うこと。ただし「——」部分は空白とする。
4. 表には罫線を引くこと。（罫線の太線と細線は区別する。外枠は太線とする。）
5. 使用したテーブルの表の形式は問わない。
6. [] 内文字はシート名とする。テーブルや作成する表にシート名があるものは、それぞれこのシート名でシートを作成し、処理を行うこと。

（例 <出力形式1> [前期]・[中期]・[後期] →前期、中期、後期の各シートを作成し、それぞれ指示された表を作成する。）
7. 作成したデータは事前に準備したファイル（初段・受験番号・名前）に上書き保存する。

（例：初段101日検太郎）

問 題

<入力データ>（各 2 4 件） ※テキストデータは SPS フォルダ内 のデータを使用する。

[前期]			[後期]		
商 C O	販 C O	販売数	商 C O	販 C O	販売数
101	11	190	101	11	161
101	12	160	101	12	248
101	13	240	101	13	199
101	14	189	101	14	210
102	11	149	102	11	159
:			:		
301	14	225	301	14	154
302	11	259	302	11	274
302	12	133	302	12	143
302	13	173	302	13	101
302	14	219	302	14	230

<商品テーブル> [テーブル] <販売先テーブル> [テーブル]

商 C O	商品名	定価
101	A 商品	1, 680
102	B 商品	3, 090
201	C 商品	1, 260
202	D 商品	2, 650
301	E 商品	970
302	F 商品	2, 340

販 C O	販売先名	前月販売額
11	小野田電機	3, 561, 000
12	サクラ堂	3, 450, 000
13	大川百貨店	3, 650, 000
14	A B カメラ	3, 180, 000

<値引率表> [テーブル]

販売数	商 C O の下 1 桁	
	1	2
1 以上 150 未満	21%	22%
150 以上 200 未満	23%	24%
200 以上	26%	27%

<手数料率表> [テーブル]

販売額	販売数			
	1～149	150～199	200～249	250～
1 以上 20 万未満	4. 8%	5. 1%	5. 4%	5. 7%
20 万以上 35 万未満	4. 4%	4. 7%	5. 0%	5. 3%
35 万以上	4. 0%	4. 3%	4. 6%	4. 9%

<処理条件>

- <入力データ>（テキストデータ、日本語シフト J I S、C S V 形式）、<商品テーブル>、<販売先テーブル>、<値引率表>、<手数料率表>を使用し、<出力形式 1>のような表をそれぞれのシートに作成。

<出力形式 1> [前期] ・ [後期]

商 C O	商品名	販 C O	販売先名	販売数	売価	販売額	手数料
(途 中 省 略)							
	合 計						

- 商品名、販売先名はそれぞれ<商品テーブル>、<販売先テーブル>を表検索。
- 売価＝定価×(1－値引率)(10 位未満切り上げ)
- 販売額＝売価×販売数
- 手数料＝販売額×手数料率(100 位未満四捨五入)

- <出力形式 1>を基に、<出力形式 2>のような表を作成。

<出力形式 2> [計算表]

商品別集計表

商品名	販売数	販売額	手数料
(途 中 省 略)			
合 計			

- 販売数、販売額、手数料は、前期シートの各項目の集計+後期シートの各項目の集計。

3. <出力形式1>、<販売先テーブル>を基に、<出力形式3>のような表を作成。

<出力形式3> [計算表]

販 売 先 別 請 求 額 計 算 表														
販 C O	販売先名	前期			後期			全期間			前月比	割引額	請求額	判定
		販売数	販売額	手数料	販売数	販売額	手数料	販売数	販売額	手数料				
(途 中 省 略)														
—	合 計										—			—

- 1) 販売先名は<販売先テーブル>を表検索。
- 2) 前期・後期の各販売数・販売額・手数料は、基表の同項目の値を集計。
- 3) 全期間の販売数・販売額・手数料は、前期の各項目＋後期の各項目。
- 4) 前月比＝ $\frac{\text{全期間の販売額}}{\text{前月販売額}}$ （％の整数未満切り上げ）
- 5) 割引額は、全期間の販売数が2,400以上または前月比が100％以上の場合、全期間の販売額×4.7％、それ以外は、全期間の販売額×4.2％。（整数未満切り捨て）
- 6) 請求額＝全期間の販売額＋全期間の手数料－割引額
- 7) 請求額が請求額の平均以上に“G”の判定をする。
- 8) 請求額の昇順に並べ替え。

4. <出力形式3>を基にグラフを[計算表]シートに作成。

- 1) グラフの種類は、販売先名別の全期間の販売数を折れ線、請求額を縦棒にした複合グラフ。
- 2) グラフタイトル、凡例は以下のとおりにする。

